

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2006-109773(P2006-109773A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-301839(P2004-301839)

【国際特許分類】

A 01 C 11/02 (2006.01)

【F I】

A 01 C 11/02 350 H

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月26日(2007.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

走行機体(1)の後方に植付作業機(2)を連結し、走行機体(1)の側部に、走行機体(1)上に畦際から予備苗(14)を補給する予備苗載せ台(13)を設け、予備苗載せ台(13)が、走行機体(1)側に支持される固定苗載せ台(19)と、該固定苗載せ台(19)に連結される可動苗載せ台(21),(22)とからなり、各苗載せ台(19),(21),(22)を、左右の側板(28)と、該側板(28)を左右方向に繋ぐ連結部材(29)とから構成した移植機において、左右の側板(28)が同一形状の同一部品からなる移植機。

【請求項2】

左右の側板(28)間に回転によって予備苗(14)を移動させるローラ(31a)を軸装して設け、ローラ(31a)と軸(31b)とを一体形成し、ローラ(31a)が一体成形された軸(31b)を左右の側板(28)に回転自在に軸支した請求項1の移植機。

【請求項3】

左右の側板(28)間に回転によって予備苗(14)を移動させるローラ(31a)を軸装して設け、ローラ(31a)の軸(31b)及び連結部材(29)の取付部(32),(33)を、側板(28)の上下中央に長手方向に沿って設けた請求項1又は2の移植機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】移植機

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

上記課題を解決するための本発明の移植機は、走行機体1の後方に植付作業機2を連結し、走行機体1の側部に、走行機体1上に畦際から予備苗14を補給する予備苗載せ台13を設け、予備苗載せ台13が、走行機体1側に支持される固定苗載せ台19と、該固定苗載せ台19に連結される可動苗載せ台21，22とからなり、各苗載せ台19，21，22を、左右の側板28と、該側板28を左右方向に繋ぐ連結部材29とから構成した移植機において、左右の側板28が同一形状の同一部品からなることを第1の特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

図1，図2は本発明の移植機である乗用田植機の側面図及び平面図である。該乗用田植機は従来同様、走行機体1の後方に植付作業機2が上下昇降自在に連結されている。植付作業機2に設けられた苗載せ台3にマット苗を載置し、走行機体1を走行させながら植付作業機2を作動させることによって圃場に苗を植え付ける。